

2026 年度 工学院大学エコ推進委員会 方針

工学院大学エコ推進委員会

委員長 宮本壮祐



1. 2026 年度活動目標

本会は、学生に環境問題についての興味・関心を持ってもらい、環境保全に対する意識を高めてもらうことを目的として活動を行っている。学生自身が改善を行うことで環境意識の向上を図る。

近年、気候変動や資源問題など環境問題は世界的な社会課題として注目されており、大学生一人ひとりが環境について考え、行動することの重要性が高まっている。本会はそのきっかけを提供する団体として活動を行う。

活動は本会独自プロジェクトである「KU-SEN Project (KOGAKUIN University Student Environmental Management)」を中心とし、環境省が掲げる環境マネジメントシステムの継続的改善サイクル (PDCA サイクル) に基づき、年間を通して活動を行う。

また、本会の活動は学内での取り組みに加え、地域で行われる環境保全活動への参加など学外でのフィールドワークも行っている。地域と連携しながら活動を行うことで、環境保全への理解を深めるとともに、地域社会への貢献や活動の達成感を得ることを目指す。

さらに、ゴミ箱の配置や表示方法などを工夫し、学生が自然と環境に配慮した行動を取れるような環境づくりにも取り組む。

本会の活動スローガンは以下の通りである。

「本会が問題解決の方策を提示し、実際の問題解決は全学生で行う。」

2026 年度は、これまで継続してきた活動を基盤としながら、学生がより参加しやすい環境活動を実現し、本学における環境意識の向上に貢献していく。

2. 活動方針

①エコキャップ・コンタクトレンズケースプロジェクト

学内に設置されているゴミ箱の横にペットボトルキャップ回収ボックス及びコンタクトレンズケース回収ボックスを設置し、ペットボトルキャップやコンタクトレンズケースの分別回収を行う。学生自らが分別をすることで分別意識を持つってもらうことを目的としている。分別されたものは本会が回収を行い、リサイクル材料として企業へ引き渡す。リサイクル材料として発生した資金は発展途上国の子供たちを救うワクチンに利用する取り組みへと送られる。

また、分別意識のさらなる向上を目的として、ゴミ箱の配置や表示方法などを工夫し、学生が自然と環境に配慮した行動を取れるような環境づくりを行う。

②委員会広報を用いた情報提供

学内向けに本会の活動報告やイベントの告知などを行う。本会の取り組みを幅広く周知してもらい、環境に対する関心を高めることを目的とする。近年、気候変動や資源問題など環境問題は社会的な課題として注目されており、学生が身近な問題として環境について考えるきっかけを提供することも目的としている。

コンタクトレンズカバーやエコキャッププロジェクト等の結果や環境イベントについての掲載をその都度行う。写真を用いて、より分かりやすい記事を目指す。今年度は、SNS を活用し、より多くの学生たちに見てもらうことを狙いとする。

③学外活動

本会の環境問題に対する知識や活動のアイデアをより深いものにすることを目的としている。外部で行われている環境保全に関する活動に参加をし、通常の活動では得られない体験を行うことで、活動に対する新たな視点の発見を図る。

④学園祭でのエコスデーシヨンの設置

ツレ八王子祭・八王子祭・新宿祭でのゴミの分別回収を行うことで、学生や来場者の分別意識向上を目的としている。本会はゴミの具体的な分別方法を呼び掛け、実際の分別はゴミを捨てに来た学生や来場者に直接行ってもらう。

⑤環境改善の促進

キャンパス内やキャンパス付近の景観の改善、本学学生の施設利用に関するマナーの向上を目的としている。本活動は学生自治会常任委員会、学生支援課と連携して行い、八王子キャンパスのロッカーの使用に関するマナーの向上を目的としたロッカー清掃を行う。また、八王子キャンパスの近隣住民と交流を図りながら学外の清掃を行い、地域に貢献をする地域清掃を行う。

以上の項目を本会の 2026 年度の方針とする。